



平成 30 年 10 月 25 日

**若手研究者が飛躍できる世界で“キラリと光る”研究大学へ  
次世代を拓く「重点研究分野」と  
「次世代研究（育成・拠点）グループ」を決定**

**◆発表のポイント**

- ・岡山大学を代表し、次世代を拓く強みとなる 15 の中領域を「重点研究分野」として選定しました。
- ・重点研究分野における大型研究プロジェクトを発掘・育成するために「次世代研究育成グループ」と次世代の学術研究拠点、社会実装拠点の母体となりうる「次世代研究拠点」を選定しました。これらは岡山大学の次代を担う 40 代の若手研究者などが研究の代表者となっています。
- ・限られたヒト・モノ・カネを重点的に配置し、若手研究者育成とともに、世界で“キラリと光る”リサーチ・ユニバーシティー（研究大学）岡山大学として、世界に伍する存在感を高めていきます。

本学は 10 月 17 日、岡山大学を代表し、本学の次世代研究を拓く強みとなる「重点研究分野」を選定しました。

昨今、大学においては「キラリと光る分野」を作り、世界的な学術研究成果の発信やイノベーション創出などが求められています。「キラリと光る」研究活動が行われ、また、それが魅力となって優秀な学生・大学院生・研究者が集まる、産業界とともに社会実装を進めるといった環境・拠点の形成 - を目指すため、本部、部局が共通理解の下、世界に伍する研究大学を目指して、重点的に支援しようとするものです。

また、重点研究分野の選定とともに、これらを岡大の顔となる学術研究拠点、社会実装拠点へ育てるために、17 の「次世代研究育成グループ」、5 つの「次世代研究拠点」を選定しました。選定された各グループでは 40 代などの若手研究者が代表研究者になっています。また、研究支援部門が担当者を置いて専門的サポートを行い、若手の段階から次世代を拓く研究ビジョンやマネジメントスキルを磨き、本学ならびに世界を牽引していく拠点の形成を目指します。

**<概要>**

本学は 2013 年 8 月に文部科学省がわが国のさらなる大学研究力向上や国際的な研究競争力強化等のために全国の大学・研究機関から選定した、「研究大学強化促進事業」の選定大学（国内 19 大学）のひとつです。本学には、光合成研究、植物ストレス研究、地球科学研究、バイオバンクなど世界的、全国的な成果を発信している拠点が既にありますが、よりインパクトのある学術研究、社会実装拠点を持続的に次世代につないでいく必要もあります。また、限られたヒト・モノ・カネなどの資源を効果的、重点的に配置することも必要となっています。



## PRESS RELEASE

このような中で、本学はいままでの「全方位的」「総花的」な研究推進から、岡山大学を代表し、次世代研究を拓く強みとなる3つの大領域、15の中領域で分類した「重点研究分野」を10月17日の教育研究評議会において選定しました。

また、重点研究分野の選定とともに、これらを岡大の顔となる学術研究拠点、社会実装拠点に育てるため、17の「次世代研究育成グループ」、5つの「次世代研究拠点」を選定しました。

選定された各グループでは40代などの若手研究者らが代表研究者になっており、若手の段階から次世代を拓く研究ビジョンやマネジメントスキルを磨き、本学ならびに世界を牽引していく拠点を目指します。

### <重点研究分野>

岡山大学を代表し、本学の強みとなりうる研究分野を「重点研究分野」として選定しました（別紙1）。

この「重点研究分野」には、拠点を目指す上で研究の厚み（研究代表者となりえる人材の数）と質（研究成果）が求められます。このため、部局やURAなどから提案された研究分野を構成する研究者の成果（論文の数と質、外部資金獲得実績）を分析するとともに、提案されている内容が研究テーマに近いものである場合には、類似の研究内容を統合する大括りの研究分野を設定し、40の研究分野に整理しました（別紙1の「小領域」に該当）。

なお、これらの分野については、岡山大学としての情報発信の観点から、更に中領域として15のカテゴリーと出口戦略による大領域として3つのカテゴリーを設けることとしました。

### <次世代研究育成グループと次世代研究拠点>

#### 次世代研究育成グループ

本学の次世代研究拠点につながるグループを担うため、学内外での連携を強化促進し、研究チームを構成して外部資金の獲得（例：科研費基盤A以上の事業等）や共同研究の拡大などができるようなネットワーク形成を図ります。

#### 次世代研究拠点

本学の次世代の学術研究、社会実装拠点として強みあるグループを形成し、大型外部資金（例：科研費基盤SやERATOの事業等）の獲得を目指し、当該分野の中核的な研究者との連携、海外研究機関との連携などを実施します。

今回、17の次世代研究育成グループと5つの次世代研究拠点を選定しました（別紙2）。

選定された各グループでは40代などの若手研究者らが代表研究者になっています。若手の段階から次世代を拓く研究ビジョンやマネジメントスキルを磨き、本学ならびに世界を牽引していくグループを形成していきます。

なお、選定されたグループには活動資金が配分され、グループ形成や研究拠点形成などの強化促進に使用されます。また、研究支援部門（研究推進産学官連携機構、URA室等）から各グループに

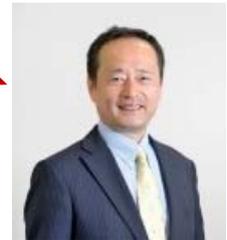


## PRESS RELEASE

担当者が付き、重点的な支援を実施します。特に若手研究者に対してはメンター的な面も含めつつ、協働でグループ形成を進めていきます。

### ◆担当の竹内大二理事・副学長（研究担当）からのひとこと

大学においては「キラリと光る分野」を作り、世界的な学術研究成果の発信やイノベーション創出が求められています。岡山大学の強みある分野の強化とともに、次世代を拓くことのできる分野を育てることで持続的な学術・イノベーション創出を目指します。



竹内理事・副学長

#### <お問い合わせ>

岡山大学教育研究プログラム戦略本部  
戦略的プログラム支援ユニット（URA室）  
（電話番号）086-251-8930  
（FAX番号）086-251-7114  
（メール） [ura-info@okayama-u.ac.jp](mailto:ura-info@okayama-u.ac.jp)



岡山大学は、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」を支援しています。